

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年5月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891600017		
法人名	有限会社 モリ・ケア・サービス		
事業所名	グループホーム いわまの郷	ユニット名	Aユニット
所在地	〒319-0202 茨城県笠間市下郷6004-1		
自己評価作成日	平成23年9月1日	評価結果 市町村受理日	平成24年5月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報公表支援センターのホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0891600017&SCD=320&PCD=08
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年10月28日	評価確定日	平成24年5月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者と職員が生き生きと明るく笑顔で暮らせるように、家庭的な雰囲気を大切に日々介護に取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は恵まれた自然環境の中にあり、居室や共用空間から豊かな自然を眺めることができる。管理者や職員は利用者がその人らしく笑顔あふれる暮らしができるように支援をしている。職員は互いにコミュニケーションを図りながら協力し合って利用者の支援にあたっている。居間兼食堂や廊下に利用者と職員で作った季節の作品や花、写真、カレンダー、絵画などを飾り、居心地よく過ごせるように工夫をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員は、その理念を共有し常に念頭に置き実践している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成するとともに、管理者と職員は朝礼時や毎月の施設会議で理念を話し合い共有している。 利用者のその人らしい普通の暮らしを大切に、笑顔あふれる家庭づくりができるよう、理念の実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご近所の方 ボランティアさんを含め地域とのつきあい つながり意識している。	自治会に加入し、地区の行事が分かるよう回覧板を回してもらっている。 利用者や職員は散歩時に近隣住民に声かけや挨拶を交わしているほか、時々農家の方から野菜を頂いている。 折紙やリハビリ体操、傾聴などの地域のボランティアを受け入れ、利用者が交流できるように支援をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実際に、認知症でお困りのご家族からの相談などもある。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	先日、8月3日に開催した。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、地区長、元民生委員などの参加を得て開催し、利用者の状況や事業所の取り組みを報告しているほか課題を話し合っているが、委員の都合などで2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。	運営推進会議は委員の予定を確認し、2ヶ月に1回開催できるように年間計画を立てて取り組むことを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	栄町区に入会。 ・栄町区長と連絡を密に取り、事業所の取組みを伝えながら、協力関係を結んでいる。	管理者は市担当者に事業所の状況を伝えているほか、定期的に来訪してもらい生活保護受給利用者に関して連携を図るなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者及び全ての職員が、身体拘束に対し、正しく理解している。 ・常に意識しながら実践している。	身体拘束防止マニュアルを作成するとともに、管理者や職員は内外研修を受講して身体拘束の弊害を理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 日中玄関は施錠せず、センサーを設置して利用者の無断外出を察知し、職員が付き添うようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、言葉づかいをはじめ虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち 管理者及び職員は、理解している。 ・当施設にも利用している利用者様もいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関し、解約も含め十分な説明を行い理解・納得して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会等を設け、意見や要望があればそれらを運営に反映させている。	運営推進会議や敬老会を兼ねた家族会、家族等の来訪時に意見や要望を聴く機会を設けているほか玄関に意見箱を設置しているが、家族等から卒直な意見等を汲みあげるまでには至っていない。	無記名の家族アンケートを実施して家族等の率直な意見や要望を汲みあげ、出た意見等を運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議等で、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。他 随時意見・提案があれば言える環境である。	代表者や管理者は日々の引き継ぎ時や連絡ノートを活用するとともに、毎月開催する施設会議で職員の意見や提案を聴く機会を設け、勤務体制や業務について出た意見や提案を話し合い、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員の勤務体制を維持し、また、職員の資格取得により給与水準の見直しを行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修への参加、施設内での勉強会など開いている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同職種の方々との親睦会やレクレーションに参加している。他施設への研修会にも参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時は、環境の変化・不安なことを考慮し 要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用を開始する段階で、今困っていること、不安なこと、今後の要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは本人にして頂き、出来ないことは一緒に行くことで、介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	職員は家族等に連絡をして友人や知人の面会を勧めたり、利用者が知人に電話をかけられるよう支援をしているほか、知人から手紙が来た場合は葉書で返事を出せるように支援をしている。 家族等の協力を得て墓参りや季節の変わり目の衣服交換に自宅へ泊りがけで出かけられるように支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一緒に生活して行く中で、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。	職員は利用者との日常の会話や行動から思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 把握が困難な場合は家族等に尋ねたり、日々の記録を参考に職員で話し合い、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態等を含め、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について話し合い、現状に適した介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等から意見や希望を聴き、職員で話し合って作成している。 3ヶ月毎にモニタリングを行い介護計画を見直すとともに、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、柔軟な支援やサービスを取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約時に協力医療機関の医師をかかりつけ医とするよう説明し同意を得ているが、従来のかかりつけ医を希望することも可能である。 職員は緊急時や毎月の受診を支援するとともに、受診結果はケース記録や申し送りノートに記録し、家族等に電話で報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所内の看護職員に、いつでも相談でき個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、出来るだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化や終末期の対応マニュアルを作成している。 事業所は看取りはしない方針で、急変時や重度化した場合は入院することとしており、契約時に利用者や家族等に対応指針を説明し同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練をしている。 ・緊急連絡網 ・119番通報の仕方		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今回の大震災で全職員が、一丸となり、協力出来た。 ・これについては、夜間の他、季節（夏・冬）なども、考慮し、考える必要がある。	消防計画及び災害時の対応マニュアルを作成し、消防署の指導を得て年2回避難訓練を実施している。 実施後は報告書を作成するとともに施設会議で課題を話し合っているが、地域住民の参加や協力を得るまでには至っていない。 災害に備えて食糧やローソク、懐中電灯、毛布などを備蓄している。	避難訓練に近隣住民の参加や協力が得られるよう、運営推進会議や地区自治会で引き続き依頼するとともに、昨年1回実施した夜間想定避難訓練を重ねて行い、災害時に利用者が避難できる方法を全職員が身につけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、プライド・プライバシーを損ねない言葉かけを心掛け支援させていただいている。	職員は利用者の生活歴を把握するとともに、一人ひとりを尊敬する気持ちを大切にして支援に努めている。 個人情報書類は事務室の所定の場所に保管し、取扱いには十分注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・意見が表せるように配慮している。ゆっくりとやさしい気持ちで待つことを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合ではなく、各利用者のペースで生活できるよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の身支度など、できるだけご本人にして頂くようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握している。職員と共に楽しみながら一緒に準備や食事・片付けをしている。	献立及び食材は業者より納品されるが、職員は調理や盛り付けを工夫し、利用者の苦手な物には代替品を提供している。 職員は利用者と同じ食卓を囲み、会話を楽しみながら食事ができるように支援をしている。 利用者は職員と一緒に下膳やテーブル拭き、食器拭き、後片付けをしている。 食事が楽しみなものとなるよう、誕生会や外食会の計画を立てて実施している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量のチェックを毎日している。一人ひとりの状態、状況に合わせて粥食、きざみ食など形状を変えて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や食後、就寝前と口腔ケアは習慣になっている。義歯の片には、ポリデント洗浄等で清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各利用者の状態に合わせて支援している。排水パターンをつかみ、定期的な声掛けトイレ誘導を行っている。	職員は排泄チェック表を基に利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間を見計らってトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の工夫や運動への働きかけの他、主治医から処方されている便秘薬服用で排便コントロールしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は、月・水・金となっているが、その時に応じ、この曜日以外での入浴も行っている。	入浴は月曜日、水曜日、金曜日の午前中と決まっているが、失禁時はシャワー浴で対応するなど、状況に応じて曜日や時間にとらわれず柔軟に対応している。 入浴を好まない利用者には職員がタイミングを見計らい、声かけや誘導をして入浴ができるように支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息は自由であり、夜間の就寝時間も特にきまりはない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎回、受診後の薬の説明書は、保管し、ファイルしてある。 ・変更、追加等、薬の内容が変わった時には、職員全員にその都度伝え服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	室内のレクの他、施設外に出かける行事の計画もしている。 ・菊祭り、花見、外食など実施している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	いつでも自由にウッドデッキで日光浴できる。施設外の行事など、ご家族にも呼びかけている。同行は自由である。	その日の天候や利用者の体調にあわせて、ウッドデッキでの外気浴や散歩を支援している。 買い物や病院受診時にドライブができるように支援をしているほか、季節に応じた花見や菊祭り、水族館、林檎狩り、外食会などは家族等にも声をかけ、一緒に出かけられるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設外行事で出かけた際には、見守りのもと 本人が自由に買い物ができるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば自由にできる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあった花や飾り付けを心掛けてしている。温度調整はこまめに行っている。	居間兼食堂は窓から差し込む日差しで明るく、カーテンで陽光を調整したり、適温になるように管理している。 畳敷きの共用スペースがあり、利用者が思い思いに寛げるように配慮している。 廊下を含めた共用空間には利用者と職員で作った季節の作品やカレンダー、写真、花を飾り、利用者が季節を感じながら過ごせるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	A・Bユニットどちらにも自由に行けるし、決められた場所はないので落ち着きたい方は、居室で休むことができる。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物、なじみの布団の持ち込みなど居室は、本人、家族の好みに応じている。	契約時に利用者の使い慣れた思い出の物品を持参してもらうよう説明し、今までの生活が継続できるように支援をしている。 利用者は居室に馴染みの寝具やテレビ、本箱、籐椅子、仏壇などを持ち込むとともに、手作りの作品や暦、小物などを飾っているほか、家族等と相談し思い思いに模様替えをして居心地よく暮らせるように工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂など大きく掲示してある。施設内は、段差のないバリアフリーになっている。			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホームいわまの郷

作成日 平成24年5月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地震や火災等の災害時を想定した訓練を、近隣住民参加の協力を得るまでには至っていない。	年2回の災害時避難訓練と夜間想定訓練を重ねて実施する。自治会や近隣の方々への出席の依頼をする。	H23年度2回の避難訓練実施(6月・12月)12月は夜間想定訓練実施、笠間市消防署員指導。	H24年度、6月、12月の避難訓練実施予定
2	4	運営推進会議は家族代表、笠間市職員、地区長、元民生委員の参加を得て実施しているが委員の都合や施設状況などの為2ヶ月に1回の開催に至っていない。	2ヶ月に1回の開催を実施するとともに、昨年同様、避難訓練の実施状況の見学等依頼をする。	H24年3月8日第6回運営推進会議及び地元民生員による事業所視察研修会実施。昨年の震災後作成した地震対応マニュアル参照して頂きながら、質疑応答行う。	H24年度、6月開催予定
3	6	毎年9月に開催している家族会では、ケアプランの説明や、利用者様の日常の状況報告を行っているが、ご家族の施設に対する率直な意見交換までは実施していない。	施設への意見や要望など率直に投げかけて頂けるようにする。	今年度開催予定の家族会の席に、ご家族の率直なご意見が頂けるよう無記名アンケート作成する。	H24年度、9月開催予定
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。